

平成30年度 「言語聴覚の日」イベント報告



青森県

今年度青森県言語聴覚士会は、弘前市、八戸市の両会場にて「言語聴覚の日」イベントを開催いたしました。いずれの会場も、市が主催する大きな健康祭りの一角に場所を設け、一般市民向けに言語聴覚士の啓発活動を行いました。

どちらかというが高齢者向けの健康祭ですので、訪れる方の多くは年齢層の高い方が中心ですが、摂食嚥下障がいや嚥下食への興味関心が高く、嚥下食の試食をしながらスタッフの説明に耳を傾けて下さる方が沢山いらっしゃいました。また、聴力検査の体験コーナーが非常に人気で、いずれの会場も長蛇の列ができる盛況ぶりでした。

青森県は、青森、弘前、八戸の3支部に分かれ活動を展開しています。これまでは県士会の事業として、年1回、1つの会場で行なってきたこのイベントですが、もっと地域に言語聴覚士の存在を知ってもらいたいとの思いから、最近は各支部がこのイベントを企画、運営し、複数会場での実施を目指しています。臨床経験の少ない若い方々が、スタッフとして参加してくれるようになり、イベントも活発化している印象です。新たに参加してくれるようになったスタッフからは、普段の臨床業務とは違う言語聴覚士の仕事を知ったという声もきかれ、新人育成という意味でもこのイベントの大切さを改めて感じています。

これからも積極的にこのイベントに参加し、言語聴覚士のことをアピールしていきたいと思えます。

青森県言語聴覚士会
八戸支部 浜谷 雄太
弘前支部 桜田 孝太

